

日本橋川清掃活動（第35回） レポート

第35回、日本橋川清掃活動が実施されました。
今回は約25人の方にご参加いただきました。
前回に引き続き OSYC のメンバーが SUP（スタンドアップパドルボード）で参加し、機動力を活かして船が近寄れない護岸上にあるゴミを回収しました。
ゴミは相変わらず人為的に投げ捨てられたものが殆どで、2日前までの降雨の影響で上流ではスカム（汚泥）が浮いていました。
生物では、下流部でカモメ類、カワウなどの野鳥を多数見ることが出来ました。

日時 2015年4月17日(金) 10:00~12:00

- 【主催】
- 名橋「日本橋」保存会
 - 日本橋地域ルネッサンス 100 年計画委員会
 - 常盤橋フォーラム

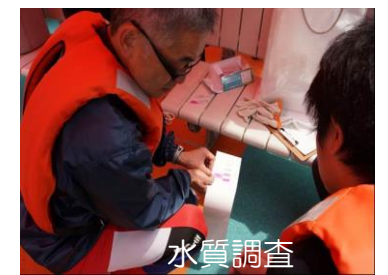
- 【参加者】
- オフィスドゥ
 - 鹿島建設
 - 清水建設
 - 千疋屋総本店
 - 日本橋プラザ
 - フジ日本精糖
 - 三井共同建設コンサルタント
 - 三井不動産
 - 三越伊勢丹
 - みらい建設工業
 - OSYC（俺たちの湘南ヨットクラブ）

- 【協力】
- 舟宿「三浦屋」（作業船提供）
 - 東京都建設局第一建設事務所
（河川清掃船によるゴミの回収作業）

- 【2015年の予定】
- ~~3月6日(金)~~
 - ~~4月17日(金)~~
 - 5月29日(金) (10時~12時)**
 - 7月17日(金)
 - 9月11日(金)
 - 11月27日(金)

約25名の皆様
にご参加いただきました。

次回もご参加、
よろしくお願
いいたします。



【水質調査】 ※水質調査結果は簡易試験（パックテスト）によるものであり、厳密な数値を示すものではありません。

気象条件等

当日の天候	晴れ、気温 21.7℃、降水量 0mm
直近の降雨	4月13日 8時から 15日 19時にかけて合計 65mm
潮位・流向	148cm → 185cm、上げ潮時

水質調査結果

地点/項目	単位	目標	① 三崎橋	② 日本橋	③ 豊海橋
透明度	cm	200 以上	190	210	140
COD	mg/L	5 未満	6	6	5
臭気	-	1 以下	3	1	1
リン酸態リン	mg/L	0.05 未満	0.03	0.03	0.03
硝酸態窒素	mg/L	2 未満	10	8	8
亜硝酸態窒素	mg/L	0.02 未満	0.05	0.2	0.04
アンモニウム態窒素	mg/L	0.2 未満	0.2	0.7	1.0



CODの目安

mg/L	0	0~5	5~10	10~20	20以上
評価	非常にきれい	きれい	少し汚れが入っている	かなり汚れがはいつている	汚れが進んでいる

臭気

-	0	1	2	3	4	5
評価	無臭	やっと感知できる	弱い臭い	楽に感知できる	強い臭い	強烈な臭い

- 透明度は、中流の日本橋がもっとも高く、下流の豊海橋が低かった。
- 上流の三崎橋付近では2日前までの65mmの雨の影響で大量のスカム（汚泥）が浮いていて臭気が感知された。

用語解説

【COD】 水中にある物質が酸化剤で酸化や分解される時に消費する酸素量。値が高いということは水の中に反応しやすい物質が多い。
 【リン酸態リン】（評価の目安 きれい：0.05mg/L 未満、0.05~0.2mg/L：少し多い）
 樹木や水草、食べ物のかす、肥料等のリンの一つの形態。生活排水、肥料、窒素とともに富栄養化の要因となる物質。
 【硝酸態窒素】（評価の目安 少ない：1mg/L、通常1~2mg/L 前後）
 アンモニア、亜硝酸が酸化されることによって生成される有機性窒素体の最終生成物が硝酸です。水道法では亜硝酸態窒素と硝酸態窒素との合計量が10mg/L以下に規制されています。
 【亜硝酸態窒素】（評価の目安 きれい：0mg/L、通常：0.02mg/L 以下）
 亜硝酸値が高い川の水は、近くに汚染源があることを推定させます。亜硝酸は酸素をとる力がたいへん強いので魚の体にも大きな影響を与えます。
 【アンモニウム態窒素】（評価の目安 きれい：0.2mg/L 未満、少し多い0.5mg/L 以上）
 タンパク質の有機物の分解によってできる。生活排水の汚れを示す1つの目安。アンモニウム値が高いということは、生活排水、工場排水、田畑からの肥料分が流入していることが考えられます。

＜ゴミの種類＞（※数値はごみの種類の傾向を示す）

- ビニール袋類 多数
- ペットボトル 5
- プラ容器 2
- その他紙類 8
- カップめん容器 5
- たばこの箱 1
- 紙パック 2
- 人為的に捨てられたゴミが殆どであった。
- 空き缶 2
- 空き瓶 1

＜確認された生物＞

- 多数のユリカモメ、カワウ等が確認された。

